

さかほぎいきいきプラン

めざす子どもの姿

豊かな心を持ち、自ら実践するたくましい坂祝の子



園・学校

<方針>

- 園・小・中連携のもとで、一人一人に「生きる力」を育む指導をする。
- 園や学校の保育・教育目標が、一人一人の子どもの姿に具現される園・学校経営をする。

【園・学校で育む力 = 「生きる力」】

- ・豊かさ…人間性や社会性
- ・確かさ…確かな学力・主体的に学ぶ姿勢
- ・たくましさ…心身の健康・困難を乗り越える意志

家庭

<方針>

- あたたかい家庭を築き、豊かな人間性や社会性を育む心の教育に努める。
- ふれあいや共同体験を大切に、たくましく生きる力、共に生きる力の基盤を育てる。

【家庭で育む力】

- ・あたたかさ…愛情に裏付けられた信頼関係
- ・かしこさ…自分で考え行動する力
- ・たくましさ…自分の決めたことをやり抜く力

<家庭教育に関わる具体的な活動>

- ・乳幼児期家庭教育学級
- ・園・小・中家庭教育学級
- ・つどいの広場アンブレラ

<3つの共通実践>

あいさつ ルール・マナー 共に活動

地域

<方針>

- 園・学校・家庭・地域が連携を図り、青少年の健全育成をまちぐるみで推進する。
- 地域の活動に積極的に参加し、環境づくりやまちづくりに主体的に寄与しようとする心を育てる。

【地域で育む力】

- ・地域での役割を担う活動づくりを通して、社会の一員としての意識を育む。
- ・大人自らが手本となる行動をとることによって、社会のモラルを育成する。
- ・信頼感に満ちた地域の人間関係を築くことによって、共生と協働の意識を育てる。
- ・ふるさとの自然、歴史、文化、産業に触れる体験を通して、地域ぐるみで「ふるさと さかほぎ」を愛する心を育てる。

<地域教育に関わる具体的な団体及び活動>

- ・青少年育成町民会議 ・子ども会育成協議会 ・放課後子ども対策実行委員会 ・子ども子育て会議
- ・学校地域安全サポートチーム ・子どもの読書活動推進委員会 ・坂祝スポーツクラブ
- ・坂祝中学校クラブ ・スポーツ少年団 ・各種ボランティア活動

園・学校と地域が一体となった 坂祝町コミュニティ・スクールの取り組み

園・学校運営協議会、地域・園・学校協働本部

坂祝町第7次総合計画 (令和3年度～令和12年度)

《基本目標1》「豊かな心を育む教育・文化のまち」

新しい風を力に 魅力にあふれ
住み心地のよいまち さかほぎ

1 学校教育

- ・個に応じたきめ細やかで一貫した教育を充実させ、子どもの確かな学力や生きる力を育む。
- ・コミュニティ・スクールの一層の充実により、地域総がかりで子どもたちを育む。

2 社会教育

- ・生涯学習の機会や場を提供し、生涯にわたり心豊かに暮らせる環境をつくる。

3 青少年健全育成

- ・家庭や地域、行政が連携・協力して、子どもが安心して学び、遊ぶことができる環境を整備し、健全な成長を促す。

4 文化芸術・文化財

- ・歴史や文化に対する理解を高め、維持・継承にかかわる活動を支援することで、地域の伝統を次世代へと引き継ぐ。

5 社会体育

- ・スポーツ活動の機会や場を提供し、生涯にわたり心豊かに暮らせる環境をつくる。



めざす子どもの姿

豊かな心を持ち、自ら実践するたくましい坂祝の子

自立と共生

中学校

- ・自分らしさを自覚し、自己の目標に向けて、粘り強く努力できる。
- ・自分の言動に責任を持ち、自分の役割を最後までやり抜くことができる。
- ・自分の思いや考えを、相手に伝わるように論理的に表現できる。

- ・互いの願いや思いを大切にし、実現に向けて高め合うことができる。
- ・集団生活の向上のために、それぞれの立場で力を出し合い、協力することができる。
- ・豊かな表現力を身につけ、相手と円滑にコミュニケーションを図ることができる。

小学校

- ・自分のことは自分ででき、自分でやろうと決めたことに粘り強く努力できる。
- ・自分の役割を自覚し、最後まで責任をもってやり抜くことができる。
- ・自分の考えを持ち、相手に分かるように根拠を明らかにして話すことができる。

- ・誰とでも分け隔てなく接し、相手の立場や気持ちを考えて行動できる。
- ・仲間と関わり合いながら、協力して活動することができる。
- ・相手の話を、自分の考えと比べながら聞くことができる。

幼児期

- ・衣服の着脱、食事、排せつなど、生活に必要な身の回りのことが自分でできる。
- ・自分から進んで楽しく遊ぶことができる。
- ・自分の思いを、言葉で伝えることができる。

- ・約束やきまりを守って、みんなが使うものを大切にできる。
- ・遊びを工夫し、友達と関わりながら仲良く活動することができる。
- ・先生や友達の話す、しっかりと聞くことができる。

乳児期

親と子の愛情の絆

- ・食事や睡眠の時間を明確にし、一日のリズムを整え、健康な生活環境を整える。
- ・愛情をもって接し、たくさんの言葉かけ、スキンシップを図って愛着形成に努める。
- ・子育て仲間をつくり、互いの情報交換をし、育児を楽しむ。



妊娠期

健康保持と子育てのイメージづくり

- ・生まれてくる赤ちゃんが成長するイメージを思い描き、そのための情報を得る。
- ・お腹の赤ちゃんのためにバランスのよい食事を摂り、健康な生活を心がける。
- ・生まれてくる赤ちゃんを家族みんなで迎える準備をし、心穏やかに過ごす。





「さかほぎいきいきプラン」指導系統表

乳幼児期家庭教育学級・保育園・こども園・幼稚園・小学校・中学校の一貫した指導

自 立 ・ 共 生

【豊かさ】 人間性や社会性

【確かさ】 確かな学力・主体的に学ぶ姿勢

【たくましさ】 心身の健康・困難を乗り越える意志

		「自立」に向けて	「共生」に向けて	大人の関わり方
中学校		<ul style="list-style-type: none"> 自分らしさを自覚し、自己の目標に向けて、粘り強く努力できる。 自分の言動に責任をもち、自分の役割を最後までやり抜くことができる。 自分の思いや考えを、相手に伝わるように論理的に表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 互いの願いや思いを大切にし、実現に向けて高め合うことができる。 集団生活の向上のために、それぞれの立場で力を出し合い、協力することができる。 豊かな表現力を身につけ、相手と円滑にコミュニケーションを図ることができる。 	共感する 助言する 認め励ます 見届ける
小学校	高学年	<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割を自覚し、創意工夫しながら最後まで責任をもってやり抜くことができる。 相手との考えの違いを意識し、根拠を明らかにして話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話を理解しようと、自分の考えと比べながら聞くことができる。 相手との違いを受け止めながら協調して活動し、集団に対して貢献する喜びを味わうことができる。 	共感する 助言する 認め励ます 見届ける
	中学年	<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割を自覚し、最後までやり抜くことができる。 仲間の考えや意見を自分と比べて考えることができる。 自分の考えを相手に分かってもらえるように話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話をうなずいたり反応したりしながら正しく最後まで聞くことができる。 仲間の考えや思いを関わらせて考えることができる。 仲間と関わりながら協力して活動することができる。 	共感する 教える 認め励ます 見届ける
	低学年	<ul style="list-style-type: none"> 自分のことは自分ですることができる。 宿題、与えられた課題等、やり抜く習慣を身につけることができる。 自分の気持ちを言葉ではっきり伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 大きな声であいさつをしたり返事をしたりすることができる。 相手の話を最後まで聞くことができる。 意欲をもって活動に参加し、誰とでも分け隔てなく楽しく活動することができる。 	教える 共感する 認め励ます 環境を整える 見届ける

		「自立」に向けて	「共生」に向けて	大人の関わり方
幼稚園 ・ こども園 ・ 保育園 ・ 乳幼児期 家庭 教育 学級	5歳	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちで生活の場を整えながら行動することができる。 人の話を聞き、相手に分かるように自分の思いを伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と共に活動する中で分担したり、協力したりすることができる。 人と関わることの楽しさや友達のよさに気づき、互いの存在を認め合うことができる。 活動したことを伝え合う楽しさを味わうことができる。 	<p>共感する 認め励ます 環境を整える 見届ける</p>
	4歳	<ul style="list-style-type: none"> 生活に必要なことが自分でできる。 聞いたり、感じたり、考えたりしたことを自分の言葉で表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを言葉や動きで表現して相手に伝えたり、相手の思いに耳を傾けたりすることができる。 あそびの輪を広げ、集団で活動することを楽しむことができる。 	<p>共感する 認め励ます 環境を整える 見届ける</p>
	3歳	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の着脱、食事、排せつなどを自分でやろうとすることができる。 自分の思ったことを言葉で伝えようとするすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師や友達に親しみ、ふれあいながら遊ぶことを楽しむことができる。 生活に必要な言葉が分かるようになり、言葉を交わす心地よさを体験することができる。 	<p>支える 手伝う 認め励ます 環境を整える 見届ける</p>
	2・1歳	<ul style="list-style-type: none"> スプーンやフォークを使って、一人で食事をするすることができる。 便器で排泄することができる。 自分の思いを伝えようとするすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉のキャッチボールをすることができる。 人とのふれあいを楽しむことができる。 	<p>支える 手伝う 認め励ます 環境を整える 見届ける</p>
	乳児期	<p>(大人が)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一日の生活リズムをつくる。 健康な生活環境づくり 言葉かけとスキンシップ 		
妊娠期	<p>(大人が)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生まれてくる赤ちゃんが健康で心豊かに成長するイメージづくりと情報収集 バランスのよい食事 心穏やかで健康的な生活 			



【めざす子どもの姿】

豊かな心を持ち、自ら実践するたくましい坂祝の子

【方針】

- 幼稚園・小学校・中学校連携のもとで、一人一人に「生きる力」を育む指導をする。
- 園や学校の教育目標が、一人一人の子どもの姿に具現される園・学校経営をする。

【「生きる力」のとらえ】
豊かさ…人間性や社会性
 ①他者の立場を理解し、助け合う心
 ②美しいものや自然に感動し、大切にすること
 ③善悪の判断をし、社会のルールを守る正義感
確かさ…確かな学力・主体的に学ぶ姿勢
 ④生活や学習の基盤となる知識や技能
 ⑤自分で課題を見つけ、考え、周囲に伝える力
 ⑥未知の事柄に興味を持ち、学び続ける意欲
たくましさ…心身の健康・困難を乗り越える意志
 ⑦健やかな体を作り、維持するための生活習慣の確立
 ⑧失敗や困難に直面しても、あきらめずに立ち直る力
 ⑨目標に向かって、粘り強く行動し続ける力。

【育てたい力】
 ⑩見通しをもつ力
 ⑪分かりやすく伝える力
 ⑫自分の変容に気付く力
 ⑬ICT 機器を使いこなす力
 ⑭自分の未来をイメージする力
 ⑮周りの人とともに解決する力
 (R7 全国学力・学習状況調査の結果より)

【3つの共通実践】
 ○あいさつ ○ルール・マナー ○共に活動

坂祝町第7次総合計画（令和3年度～令和12年度）

《基本目標1》 「豊かな心を育む教育・文化のまち」

新しい風を力に 魅力にあふれ
住み心地のよいまち さかほぎ

- 1 学校教育
 - ・個に応じたきめ細やかで一貫した教育を充実させ、子どもの確かな学力や生きる力を育む。
 - ・コミュニティ・スクールの一層の充実により、地域総がかりで子どもたちを育む。
- 2 社会教育
 - ・生涯学習の機会や場を提供し、生涯にわたり心豊かに暮らせる環境をつくる。
- 3 青少年健全育成
 - ・家庭や地域、行政が連携・協力して、子どもが安心して学び、遊ぶことができる環境を整備し、健全な成長を促す。
- 4 文化芸術・文化財
 - ・歴史や文化に対する理解を高め、維持・継承にかかわる活動を支援することで、地域の伝統を次世代へと引き継ぐ。
- 5 社会体育
 - ・スポーツ活動の機会や場を提供し、生涯にわたり心豊かに暮らせる環境をつくる。

坂祝町こども計画（令和7年度～令和11年度）

【基本理念】

『こども・親・地域 みんなが育つ健やかで安心なまち さかほぎ』

坂祝町こどもの権利に関する条例

<運営>

園・学校経営 全教職員が協力して活力ある園・学校経営をする

- ・組織運営：管理職の理念のもと、教職員の使命感を引き出し機能的な組織を築く。
- ・教育課程：指針を遵守しつつ、地域や学校の特色を生かした創意ある教育を行う。
- ・安全管理：命を守ることを最優先し、家庭・地域と連携して確実な危機管理体制を整える。
- ・信頼構築：情報を積極的に公開し、評価や実態を経営改善に反映させ、開かれた学校を作る。
- ・資質向上と環境：研修を計画的に行う。勤務適正化を進め、教職員が健康で意欲的に働ける環境を作る。

研修 自己の課題を明確にし、主体的に研修を進め、確かな指導力を身に付ける

- ・自己研鑽と研修：育成指標に基づき自己の課題を明確に、経験に応じた継続的な研修を行う。
- ・ICT活用の推進：授業や校務でのICT活用、および情報モラル指導の向上を図る研修を行う。
- ・特別支援の充実：個々のニーズに応えるため、組織的に教職員の指導力と支援体制を強化する。

<指導>

幼稚園指導 発達の課題に即し、遊びを通じた総合的な指導をする(②③④)

- ・基本的生活習慣を整え、自然や人との関わりを通して道徳性の芽生えを育む。

教科指導 知識及び技能の習得を図り、思考力、判断力、表現力等を育成し、学びに向かう力、人間性等を涵養することが実現されるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行う(④⑤⑥⑩⑪⑫⑬)

- ・興味・関心を高める課題設定をし、振り返り活動を通じて自己の変容に気付かせ、粘り強く学習に取り組む姿勢を育てる。また他者との対話の場を設定し、根拠をもって説明する力や考えを広げ深める力を伸ばす。

外国語教育 外国語を通じてコミュニケーション能力の素地を養う(④⑤⑪⑬)

- ・外国語での「見方・考え方」を働かせ、主体的に伝え合おうとする授業を構成する。

総合的な学習の時間 探究的な学習を通して、課題を解決し自己の生き方を考えていくための資質・能力を育てる(⑩⑪⑫⑬)

- ・他教科との関連を明確にし、児童生徒の課題意識が持続する体験活動と言語活動を意図的に組み込む。

特別活動 集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己実現を図ろうとする態度を育てる(⑩⑪⑫⑬)

- ・児童生徒による自治活動を軸に、児童生徒が自信と個性を発揮し、望ましい人間関係の中で自己の生き方を見つめ、新たな目標を拓いていける指導・評価を展開する。

道徳教育 よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う(①②③⑧⑨⑫)

- ・自分事として捉え、多面的・多角的に考える活動を通じ、主体的に自己の生き方を深める道徳科授業を実践する。

生徒指導 共感的な園児・児童生徒理解に徹し、よりよい人間関係の形成を図り、自己指導能力を育てる(①③)

- ・園児・児童生徒理解に努め、自他を尊重し、より良い人間関係を築き、思いやり協力し合える子や集団を育てる。

人権教育 お互いを認め合い尊重し合いながら、共に生きる力を育てる(①③)

- ・偏見・差別を許さない人権感覚を養うとともに、互いの良さや違いを認め、支え合える人間関係の醸成を図る。

特別支援教育 一人一人の教育的ニーズに応じ、自立し社会参加するための基盤となる力を育てる(①③)

- ・管理職とコーディネーターを中心に、全教職員で教育的ニーズを共通理解し、本人・保護者と合意形成を図り「個別の教育支援計画・指導計画」を活用した支援により、園児・児童生徒の生きる力を育む。

多文化共生 外国人園児・児童生徒の適応指導の充実を図り、異文化を理解し、尊重する態度や異なる文化をもった人々と共に生きていく態度を育成する(①⑫)

- ・外国人園児・児童生徒への言語・文化指導を充実させるとともに、互いの文化を尊重し合う機会を創出する。

情報教育 ICTを文房具として日常的に活用し、操作スキルと情報リテラシーを育てる(⑬)

- ・ICT機器を日常的に使い、基本操作や情報収集・整理の技能を高めるとともに、情報モラル教育を推進し、正しく安全に使いこなす情報活用能力を育成する。

キャリア教育 社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育てる(⑥⑧⑨⑭⑮)

- ・勤労観・職業観を育む体験活動を充実させ、多様な人と関わり、他者の価値観を認め合う中で、自身の生き方や進路を深く考える機会を作る。

ふるさと教育 ふるさとをよく知り、ふるさとへの愛着を育む(⑭⑮)

- ・小中一貫で「ふるさと坂祝」の自然・文化・産業等に触れ、郷土を学ぶ取組を実施する。

健康教育 運動に親しみ、進んで健康で安全な生活を営む態度を育てる(⑦)

- ・体力・食生活・安全意識等の実態を的確に把握し、健康で安全に生き抜くための指導を充実させる。

読書・読み聞かせ活動 言葉の教育を通して、心豊かな人間性と表現力の素地を培う(①②③)

- ・豊かな感性や表現力、生きる力を育むため、読書活動や読み聞かせの時間を充実させる。